

一 複雑な社会の中で生きる人間が依存症になるしくみは、脳のメカニズムですべてを説明できる（と筆者は思っていないということ。）

（四十二字）

問二 C

問三 歪んだ人間関係の中で悩みや苦しみ、心の痛みを抱えて孤立したことで依存症になった人が、依存症になったことで差別や偏見にさらされて孤立を深め、回復から遠ざかってしまうこと。

問四 依存症を生み出すつらさの原因を見直しつつ、依存症になる人が出てくることをあらかじめ想定し、その人に寄り添い回復を支援し、立ち直った後は敬意をもって接する、みんなが幸せになれる社会。

問五 ウ

二

問一 a エ b イ

問二 自分がキム・チョヒに負けたのは自分の実力ではなく、キム・チョヒが規定違反の水着を着て実力以上の力を出していたからだ、ということ。

問三 自分の問題で負けたことに向き合わず、無理やり相手の水着のせいにする、という情けない態度。

問四 八年間共に水泳をしてきて、常に寄り添ってくれていた戦友である部長のسنナムの期待を裏切り、見苦しい態度で傷つけたから。

（五十九字）

問五 水泳をする目的は勝つことだけだ（という考え。）

（十五字）

三

1 簡素 2 圧巻 3 協議 4 序列 5 探査

6 委任 7 給湯 8 垂（れる） 9 暮（れる） 10 絹